

# 小学校 6年生 国語【まとめNO.2 卒業時に読ませたい本】

☆こんな本を希望

卒業時に読ませたい本を借りたい。



☆図書館で準備できる本

書名	出版社	備考
たくさんのドア	主婦の友	アリスン・マギー/文:ユ・テウン/絵:なかがわちひろ/訳 子どもたちの前にならぶ未来へのドア。あけるのが待ちきれないドア、ずっとひらくドア、重たくてきむドア。その向こうに広がっているのは…。新しい世界への扉をあけようとするすべての人に贈る絵本
はじまりの日	岩崎書店	ボブ・ディラン/作:ポール・ロジャース/絵:アーサー・ビナード/訳 ボブ・ディランの半世紀の道をたどる名曲「フォーエバー・ヤング」の絵本
たいせつなこと	フレーベル館	マーガレット・ワイズブラウン/作:レナード・ワイスガード/絵:うちだややく/訳 たいせつなことはなにかを、やさしく詩的な文章で語りかける絵本
空の絵本	講談社	長田弘/作:荒井良二/絵 うつくしい空のうつりかわりを描いた絵本
ピアノ調律師	現代企画室	M.B.ゴフスタイン/作-絵:末盛千枝子/訳:ピアノを調律する音が大好きなデビーの夢は、おじいさんのような世界一のピアノ調律師になること。ある日おじいさんに内緒でよその家のピアノの調律を始めて…。
卒業の歌 ぼくたちの挑戦	PHP 研究所	本田有明/著:クラス全体のまとまりがない6年3組は、小学校最後の思い出に、校内合唱コンクールで創作曲に挑むことに。
劇団6年2組 ティーンズ文学館	学研教育出版	吉野万理子/作:宮尾和孝/絵 卒業式の少し前、お別れ会で劇をやることになった6年2組。なんとか探してきた台本でスタートしたけれど、役の気持ちが、いまひとつわからない。実際の友だちの気持ちだって、なかなかわかりづらいもの。そんな6年2組の、自分たちだけの劇が、今、幕を開ける。
ピアスの星	くもん出版	赤羽じゅんこ/作:tamao/画:卒業まで、あと少し。わたしたち、大人になれるのかな?「ピアスってどう思う?したいと思わない?」サヤが、ささやくようにいった。
ぼくらの最終戦争 「ぼくら」シリーズ11	ポプラ社	宗田理/作 いよいよ中学卒業が迫り、英治たちは最後に何をやるか考えていた。教師の方も無事に卒業式を終わらせるために、いろいろな手を打っていた。そんな時、どろぼうをやめたルミの父親が刑務所を出てきたが、翌日すぐに姿を消してしまう。卒業式のいたずらもルミの父の救出も進めなければならない。
あの日、ブルームーンに。	ポプラ社	宮下恵菜/著 「ブルームーン」とよばれる願いをかなえてくれる、青い月。ひとつだけ、願いごとをするなら、なにを祈る?15歳の青春ストーリー
君たちはどう生きるか	ポプラ社	吉野源三郎/著 人間には、人間だけにしかない美しいものや、人間だからこそわかるりつばさがあるはず。中学2年生のコペル君が、学校生活の中で、いろいろなことに出会い、いろいろなことを考えていく
いま生きているという冒険	新曜社	石川直樹/著 降りかかってきたすべてのことを、自分の五感すべてで引き受けて、堂々と世界と向き合っていけばいい。最年少で世界7大陸最高峰登山を達成し、北極・南極間を人力で踏破、自然だけをたよりに進む航海術を学ぶなど、世界を素手で旅し、未知のフィールドを歩き続けてきた若き「冒険者」の軌跡
高村光太郎詩集 道程	岩崎書店	高村光太郎/著:伊藤英治/編 「道程」「パリ」など代表作四十一編を収録
おおきくなったらきみはなんになる?	講談社	藤本ともひこ/文:村上康成/絵 きみがやりたいことは、きみがきめるんだ。きみがやりたいことを、きみがやるんだ。きっと、できる!卒園式で子どもたちに語りかけてきた言葉を絵本化
だから、科学っておもしろい!! エッセイ 読書がたのしくなるニッポンの文学	くもん出版	杉田玄白ほか/作 何気ないできごと、身近なできごとを視点で、ちょっと変えて見てみたら…。“科学する心”をもてば、きっと世界が広がるはず。毎日が、もっと楽しくなっていくはず。十代のキミへ
芸術するのは、たいへんだ!? エッセイ 読書がたのしくなるニッポンの文学	くもん出版	倉田百三ほか/作 文学、美術、音楽…。芸術に生きるのもラクじゃない!?苦難をものともせず、己の道をひた走る彼らをつき動かした、熱情とは?十代のキミへ
菜の子先生はどこへ行く? 学校ふしぎ案内・花ふぎの三学期	福音館書店	富安陽子/作 YUJI/画 女の子の家に落とし物を届けに行ったら、いきなり現れた鬼を相手に、学校中で鬼ごっこ!菜の子先生が登場すれば、たちまち始まる大冒険
ともだち	玉川大学出版	谷川俊太郎/文:和田誠/絵 ともだちって かげがうつっても へいきだって いってくるひと。だれだって ひとりぼっちでは いきてゆけない。ともだちってすばらしい。心温まる絵本。
おおきな木	あすなる書房	シェル・シルヴァスタイン/作:村上春樹/訳 成長し、変わっていく少年。それでも、いつでもそこにある木は、少年に借しめない愛を与え続けた—シルヴァスタインのロングセラー絵本
最初の質問	講談社	長田弘/詩:いせひでこ/絵 「うつくしい」と、あなたがためらわず言えるものは何ですか。好(す)きな花を七つ、あげられますか。くりかえされる問いかけと、うつくしい絵の絵本
ルピナスさん 小さなおぼあさんのお話	ほるぷ出版	バーバラ・クーニー/作:かけがわやすこ/訳 ルピナスさんは、おじいさんと約束したとおり、世界中を旅行して海辺の小さな家に住み3つめの約束「世の中を美しくするためにすてきな魔法を思いつきました。」
きみの行く道	河出書房新社	ドクター・スース/作・絵:いとうひろみ/訳 きみの頭には、のうみがつまってる。くつには、足が入ってる。つまり、行きたい方向へちゃんと行ける。まったくひとり。行きたい道がなければ町を出て、ひらけた外を歩けばいい。何かおこってもだいじょうぶ…。これから新しい人生にふみだそうとする、すべての人におくる絵本
あなたがうまれたひ 福音館のかぐのほん	福音館書店	デブラ・フレイジャー/作:井上荒野/訳 太陽も月も地球も人びとも、みんなあなたが生まれるのを待っていた。シンプルで明るいイラストで描く、赤ちゃん誕生の喜びの賛歌
ルリユールおじさん	講談社	いせひでこ/作 ソフィーの大事な植物図鑑がこわれてしまった。町の人から「ルリユール」のところに持っていくといいと聞いたソフィーは、本造り職人のおじさんに図鑑を直してもらうことになり…。
あさになったのでまどをあけますよ	偕成社	荒井良二/著 なにげない日々の繰り返し。そのなかにこそある、たしかかな希望。生きることのよこごび。きみのまちは、晴れてるかな? 大気にみみざる光と気配、風景の力を描いた絵本。
夢はどうしてかなわないの? こころのえ?ほん	汐文社	大野正人/作:中川学/絵:出口保行/監修 夢の世界でまっているもの。それはおそろしい悪魔たち。でも、悪魔とのたかひで手に入るもの。それは、あなたにとって一生のたからもの…。
ひとりひとり	成美堂出版	谷川俊太郎/詩:ふくだとしお/絵 人を愛し、人と力を合わせ、人に学びながら生きることで自分を生かす「自立」の大切さを描いた絵本
百年たつてわらった木	くもん出版	中野美咲/文:おぼまこと/絵 森の中に百年も立っている木がありました。姿形をかっこよくしてきたのですが、一人も友だちができません…。木を通して、ありのままの自分が大切なことを伝えます
その手に1本の苗木を マータイさんのものがたり	評論社	クレ・A.ニヴォラ/作:柳田邦男/訳 「モットイナイ」の精神を世界に広め、アフリカ人女性で初のノーベル平和賞を受賞した環境保護活動家W・マータイさんの伝記絵本